

公益活動報告書《新規登録団体》

(宛先) 岡崎市長

令和 5年 12月 22日

団体名 ねんねサロン岡崎 代表者 小嶋 真子

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか。

※登録申請前1年間に会員以外の方が参加した活動を実施していないと、市民活動団体登録はできません。

活動日 又は期間	場 所	従事者	参加人数		活 動 内 容	効 果	分類 ※
			会員以外	会員			
2023/1/18	株式会社 小野ふと ん店	2	10	2	「冬のぐっすりねんね」 1グループ3組・二部制 寝具専門店での寝具選びレ クチャー付き	寝具選びの側面から 睡眠へのアプローチ を知っていただくこ とができ、満足の声 が多かった。地域で 暮らす専門家との繋 がりの場を提供する ことができた。	③
2023/2/15	認可外保 育施設 託児ガー ベラ	2	14	2	「お昼寝の悩み!」「夜 泣きの悩み!」 3組1グループ・二部制	参加者より「ずっと 悩んでいたことがす ぐ解決できた」と喜 びの声があり、夜泣 きに悩む保護者の心 身の負担を軽減する 手助けとなった	③
2023/3/15	オンライ ン	1	9	1	寝かしつけのお悩み個別 相 談 会 対象：0～5歳 1組30 分ずつ	個別相談の形式によ り、密度の高い相談 とより質の高いアド バイスの実践が可能 になった。児の夜泣 きに悩む母親の苦悩 の解決に直結した。	③
2023/4/19	株式会社 小野ふと ん店	2	8	2	「春のねんねとおふと ん」 1グループ3組・二部制 寝具専門店からの寝具ケ アレクチャー付き	季節に合わせた寝具 や寝室の環境調整に ついて参加者の疑問 やニーズに応えるこ とができた。地域の 専門家との繋がり の場を提供するこ とができた。	③
2023/5/17	連尺学区 市民ホー ム	2	18	2	入退室自由形式 ねんね相談会・ママ同士 の交流	「希望が見えた」、 「おかげさまで寝る ようになった」との 声があり、普段ワン オペ育児をする母親 の産後鬱のリスク低 下に寄与したと考 える。	③

2023/6/21	連尺学区 市民ホーム	2	10	2	寝かしつけのお悩み個別 相 談 会 対象：0～5歳 1組30 分ずつ	直接対話をすること により、取捨選択の 困難なあふれる情報 に惑わされることなく、知識のアップデ ートをしていただけ た。	③
2023/7/3	株式会社 小野ふと ん店	2	12	2	グ ル ー プ 相 談 会 1グループ3組・二部制 寝具専門店からの寝具ケ アレクチャー月	季節に合わせた寝具 や寝室の環境調整に ついて参加者の疑問 やニーズに応えるこ とができ、快適な睡 眠へのアプローチへ エビデンスある情報 と知識を提供でき た。	③
2023/7/19	連尺学区 市民ホーム	2	13	2	入 退 室 自 由 形 式 ねんね相談会・ママ同士 の交流	参加者同士の交流も 活発に見られ、母親 たちとの繋がり場の としても提供でき た。「気軽に相談で きてよかった」や 「心が軽くなった」 との感想も得られて いる	③
2023/9/20	大平市民 センター	2	12	2	入 退 室 自 由 形 式 ねんね相談会・ママ同士 の交流	科学的根拠をもった アドバイス・ポジテ ィブなコーチングに より「今夜から実践 したい！ワクワクす る！」という、行動 変容に繋がる言葉が 得られている。	③
2023/10/30	甲山閣	2	10	2	入 退 室 自 由 形 式 ねんね相談会・ママ同士 の交流	コミュニケーション の場・カウンセリング の場として機能を 果たし、 「悩みを聞いてもら って救われた」との 声や、母親同士の活 発な交流があった。 児の睡眠に悩む母親 たちの産後鬱のリス クを軽減している。	③
2023/11/15	大平市民 センター	2	8	2	入 退 室 自 由 形 式 ねんね相談会・ママ同士 の交流	「先生のアドバイス で救われました」 「10時間眠れるよ うになって本当に嬉 しい」などの声があ った。児の睡眠問題 が解決されることに より母親たちの睡眠 保健衛生も向上し、 より日中に児と向き 合えるようになり、 愛着を育むことがで きている。	③
2023/12/13	大平市民 センター	2	23	2	入 退 室 自 由 形 式 ねんね相談会・ママ同士 の交流	参加者同士がともに 励まし合い、アドバ イザーから的一方通 行でなく効果的なグ ループコンサルテー ションの様相を呈し ている。主体性をも って取り組む母親が	③

						増えており、当サロンからの地域活性化の芽吹きを感じることができる。
--	--	--	--	--	--	-----------------------------------

※分類 ①人を助ける活動 ②活動の担い手を育てる活動 ③人々を啓発し、団体の目的を広める活動
 ※活動についてチラシ、報告・記録などがありましたらあわせてご提出をお願いします。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）
 高い ④ 3 2 1 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

毎回参加者からは、「悩みが改善された」「子どもが寝るようになった」「来てよかった」「助けられた」など、満足度の高いアンケート結果をいただいています。
 そして、参加者が次の会の時にお友達を連れてきてくださったり、参加者同士での交流も活発になっており、活動の認知への広まりやコミュニティの成長を実感しています。